

S S T L

NO. 59 2018. 5. 22

職場参加ニュース

今年は10時からまずシンポを行い、12時すぎから総会を開き、13時半ごろ終了します

総会・記念シンポにおいでください！



日時 6月3日(日) 10:00~12:00 (受付:9:30~)

会場 越谷市障害者訓練施設しらこぼと

〒343-0011 越谷市大字増林5830の4

越谷駅東口から朝日バス 増林地区センター・いきいき館・総合公園行「増林バス停」下車

※市立病院行乗車の場合は、同病院で下車し徒歩約8分

会費 会員500円 非会員700円(資料代)

手話通訳あり 駐車場あり

講演:

「生きづらさ」、「働きづらさ」を抱える人々の「働き方改革」とは
堀 利和さん(NPO法人共同連代表・元参議院議員)

パネルディスカッション:

鈴木啓太郎さん:上福岡障害者支援センター21(公共施設喫茶、特例と連携のB型)

加納毅さん: ワーカーズコープ・就労継続B型事業所ひよせ(農業B型)

柳沼絵美子さん・Mさん: にじさんぼ(相談支援、B型・自立訓練の多機能でカフェ)

高瀬勇さん: 就労移行支援事業所「世一緒」(当会・4月開所)

コメンテーター: 田中 克尚さん(越谷市障害福祉課副課長)、堀 利和さん

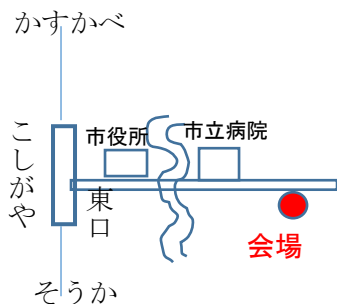
コーディネーター: 朝日 雅也さん(埼玉県立大学社会福祉子ども学科教授)

シンポジウム終了後、トイレ休憩の後定期総会を開催し、13:30頃閉会します。なお、総会終了後、希望者は駅前での懇親会へどうぞ。

主催: NPO法人障害者の職場参加をすすめる会
(代表理事・山崎 泰子)

後援: 越谷市 春日部市(予定)

お問い合わせ: Tel & Fax : 048-964-1819



障害のある人も 生きづらさを抱える人も
いま地域で問われる「働き方改革」とは

▶ CONTENTS ◀ 総会・記念シンポにおいでください! 1 2018年定期総会記念シンポジウム開催要項 2
/就労移行「世一緒」グラフィティ 3 /シンポ・勉強会報告 4 /すいごごカフェ案内 5 /カレンダー 6
/職場・地域ひろがりつうしん 7 /情報スクランブル 8 就労移行支援パンフ 9 /世一緒スタッフ日記 10

2018年度定期総会記念シンポジウム 開催要項

1. 名 称：障害のある人も生きづらさを抱える人も一いま地域で問われる「働き方改革」とは

2. 内 容：国会に出された「働き方改革」法案は労働時間規制を取っ払う高度プロフェッショナル制度などでの批判が高まっています。いっぽうで同法案は「正規か非正規かという雇用形態に関わらない均等・均衡待遇」、「同一労働・同一賃金」、「長時間労働の是正」を掲げています。また「多様な女性活躍」、「就職氷河期世代や若者の活躍」、「病気の治療と仕事の両立」、「子育て・介護と仕事の両立」、「障害者等の希望や能力を活かした就労支援」、「高齢者の就業支援」、「外国人材の受け入れ」をトータルに行い、結果として「日本経済の潜在的成長力の底上げ」につなげるとして、多岐にわたる関連施策が準備されています。

こうした国の動きと自治体や地域の状況について、視覚障害者の労働問題を原点に、国政でも活躍され、現在社会的事業所の法制化をめざす全国組織・共同連代表の堀さんのご講演をいただき、いわば「ガイドマップ」を手にして次のパネルディスカッションに入ります。

私たちの暮らしの場である地域でも、雇用義務化が進められてきた障害者に加えて、他の「生きづらさ」、「働きづらさ」を抱えた人々や、「働く」の対象からは除かれてきた人々を含むみんなの「働き方改革」が、切実な課題になってきたと考えます。パネルディスカッションでは、地域の中で他の人々と共に生き、共に働くユニークな取り組みの現場レポートをいただきながら、考え合いたいと思います。その中で、当会がこの4月から開設した就労移行支援事業所「世一緒」の課題とヒントも探ります。

2. 日 時：2018年6月3日(日) 10:00~12:00 (受付:9:30~)
(シンポジウム終了後、トイレ休憩の後定期総会を開催し、13:30頃閉会します。)

4. 会 場：越谷市障害者就労訓練施設しらこぼと 〒343-0011 越谷市大字増林5830の4
越谷駅東口から朝日バス 増林地区センター・いきいき館・総合公園行「増林バス停」下車
※市立病院行乗車の場合は、同病院で下車し徒歩約8分

5. 会 費：会員500円 非会員700円(資料代)

6. プログラム

総合司会：

講 演：「生きづらさ」、「働きづらさ」を抱える人々の「働き方改革」とは
堀 利和さん(NPO法人共同連代表・元参議院議員)

パネルディスカッション：

パネリスト 鈴木啓太郎さん：上福岡障害者支援センター21(公共施設喫茶、特例と連携のB型等)

加納毅さん： ワーカーズコープ・就労継続B型事業所ひよせ(農業B型)

柳沼絵美子さん・Mさん：にじさんぽ(相談支援、B型・自立訓練の多機能カフェ)

高瀬勇さん： 就労移行支援事業所「世一緒」(当会・開所したばかり)

コメンテーター：田中 克尚さん(越谷市障害福祉課副課長)、堀 利和さん

コーディネーター：朝日 雅也さん(埼玉県立大学社会福祉子ども学科教授)

手話通訳あり 駐車場あり

7. 主 催：NPO法人障害者の職場参加をすすめる会(代表理事・山崎 泰子)

〒343-0023 埼玉県越谷市東越谷1-1-7 須賀ビル101 職場参加ビューロー・世一緒内

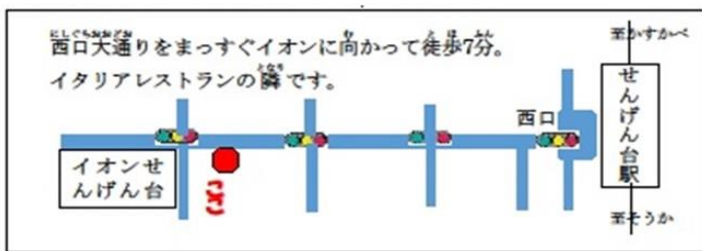
8. 後 援：越谷市 春日部市(予定)

9. お問い合わせ： Tel&Fax : 048-964-1819 e-mail:shokuba@deluxe.ocn.ne.jp



〒343-0041 埼玉県越谷市千間台西3丁目1-16
☎ 048-971-8038 dokkoisyo311@yahoo.co.jp

一緒に地域の職場を拓きませんか
せんげん台西にオープン!

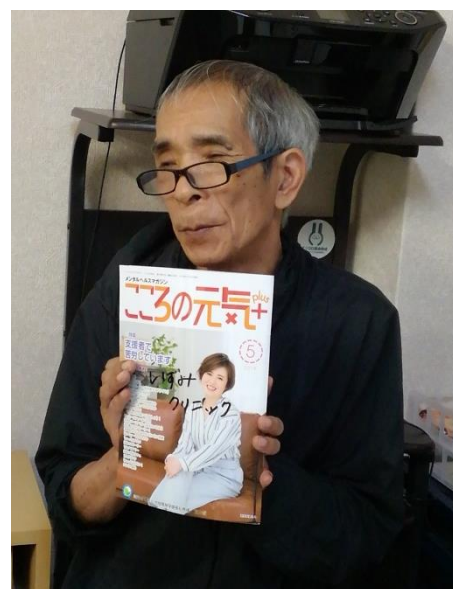


上左：せんげん台の就労移行支援事業所「せ一緒」前での有機無農薬野菜販売

上右：初めてせんげん台で開かれた当会の運営委員会

左：月一回のせんげん台すいごごカフェで忙しく働く通所者たち

下左：せんげん台でのすいごごカフェ第1回は超満員 下右：せんげん台すいごごカフェ第1回のトーク・ゲストは、長年精神病院で地域に開放された暮らしの実現に力を尽くしてきた高瀬勇所長





他生の縁に誘われ



共同連マ
ラソントー
ク
4月15日 南浦和

4月15日、さいたまコーププラザで行われた共同連マラソントークに参加しました。その中で、吉田さん(わらじの会)、田嶋さん(ワーカーズコープ)、齊藤さん(共同連)のパネリスト3名によるパネルディスカッションが、白杉さんのコーディネートで行われました。

吉田さんからは、介助・住まいを含む暮らしの分野で共に働くことを重ね、いまは地域の人々の暮らしを支える仕事を通して地域に切り込んでいると述べました。田嶋さんは法制化が迫り、住民・自治会やNPOが自ら協同労働の協同組合を立ち上げる動きが全国で進んでいることを報告しました。齊藤さんは、国の「我が事丸ごと」は労働が欠落し大企業任せにしていると厳しく批判した上で、わっぱとして46年間取り組んできた共に働く場を今回「ソーネおおぞね」のオープンを機に初めて他の市民にひらく試みをしたことにより、差別もひっくるめてさまざまなせめぎあいを日常的に経験しながら、社会的事業所の実体を創っていると報告していました。

わらじの会や職場参加をすすめる会の活動は小さく、ベクトルも異なりますが、ワーカーズコープや共同連の活動と連動して、共に働くを拓く時代の波を共有していることを実感させていただきました。

大久保製塙 闘争勉強会

4月20日 越谷



4月20日、第52回共に働く街を拓くべんきょう会で40数年前の「福祉ドレイ工場の叛乱」と呼ばれた大久保製塙闘争の当時から現在までの活動を、当時の一員で今も組合副委員長を務める長崎さんからうかがった。40数年前、街に出た重度障害者たちと越谷市職メンバーと一緒に大久保製塙のデモに参加した。その時出会い言葉を交わした大久保製塙の障害者たちも、その後のさまざまな差別・抑圧と向き合い、闘いながら、定年を迎え、再雇用も経て、地域で生きていくと、長崎さんから聞いた。この夜の映画でも2008年の杉田さん(40数年前の委員長・脳性まひ者)の会社の前で語る姿を見ることができた。会場には、過労により病に倒れたり、非正規で雇止めされ、闘っている人たちも参加し、現状を語り合い交流した。

第2期すいごごカフェはじまったよ

5/30~6/13のゲスト

30日(水)

世話人若林佳誉子さん

と

生活ホーム住人達

住まいを共にするとは

住まいとは、地域のくらしを共にする場。基本的人権としての住。越谷市恩間新田の生活ホームで、他人同士が世話人や介助者、ご近所とくらす日々から紡がれる物語。

6/6(水)

橋本 直子さん

若年性パーキンソン当事者

自分とのつきあいかた

難病ってなんだろう。症例に限られ治療法が途上という医療側の事情と、支えが乏しく孤立し不安だという本人・家族の事情がある。その中で創ってきた自他との関係とは
【この日は30分遅らせ2:00から始めます】

13日(水)

水島 茂治さん

世一緒障害者スタッフ

労働人生から得たもの

中学卒業後から自衛官、警備会社、食器洗浄と長年働き続けて退職し一人暮らし。「私の体は薬でできている」と苦笑しつつも、大相撲等を楽しむ余裕の源はどこに？



すいごごカフェとは
13:30~15:00
世界を拓くこころの旅

よく知っている人だけど、なぜどのようにしていまここにいるの？仕事は、暮らしは、生い立ちは、家族は、好きなことは、嫌いなことは…？よく笑った時のこと、泣いた日のこと、昔のここ、今のまち、ふるさと、しばらく過ごした土地、出会った人、別れた人。ほぐれた糸をたどると、気付かなかった世界が現れ、歴史がちよっぴり変わる。

当会が「就労」とは縁がないと自他ともに思っている人々も含めた「職場参加」に取り組んでいるのも、さまざまな他者が出会い一緒に動くことこそがこの世界を変えてゆくと信じるからです。

昼過ぎ 13:30~15:00 のひととき、コーヒーを片手に、新しい世界を少しだけ一緒に拓くこころの旅に出ませんか。

2018年5月～7月 世一精カレンダー 2018.5.23作成

2018年5月		2018年6月		2018年7月	
日中行事	ほか	日中行事	ほか	日中行事	ほか
1日 火		1日 金		1日 日	
2日 水	当番会費	2日 土	朝会準備	2日 月	求人広告チェック
3日 木	ボスティング?	3日 日	すずめる会費金・シンボリズム	3日 火	互員料のオウニ祭
4日 金		4日 月	求人広告チェック	4日 水	ボスティング
5日 土		5日 火	互員料のオウニ祭	5日 木	せいごカフェ
6日 日		6日 水		6日 金	ボスティング
7日 月	水上公園共同作業	7日 木		7日 土	せいごカフェ(橋本直子さん)
8日 火	麓谷水辺の市	8日 金	ボスティング	8日 日	どの子も夏の集会
9日 水	水上公園予備日	9日 土	せいでこカフェ	9日 月	水上公園共同作業
10日 木		10日 日	せいでこカフェ(土田さん)	10日 火	麓谷水辺の市
11日 金	互員料のオウニ祭	11日 月		11日 水	水上公園予備日
12日 土	せいでこカフェ	12日 火	せいでこカフェ	12日 木	たそがれ
13日 日	せいでこカフェ	13日 水	互員料のオウニ祭	13日 金	ボスティング
14日 月	求人広告チェック	14日 木	たそがれ	14日 土	
15日 火	水辺の市予備日	15日 金	せいでこカフェ	15日 日	祭
16日 水	職場参加を語る会	16日 土	せいでこカフェ	16日 月	水辺の市予備日
17日 木		17日 日		17日 火	
18日 金	水上公園共同作業	18日 月	水上公園共同作業	18日 水	職場参加を語る会
19日 土		19日 火	水辺の市予備日	19日 木	たそがれ
20日 日		20日 水	職場参加を語る会	20日 金	せいでこカフェ
21日 月	水上公園共同作業	21日 木	工場等	21日 土	
22日 火		22日 金	互員料のオウニ祭	22日 日	
23日 水	ピアサポート研究会	23日 土	ネットワーキング会	23日 月	ボスティング
24日 木		24日 日	ネットワーキング会	24日 火	
25日 金	水上公園共同作業	25日 月	水上公園共同作業	25日 水	ピアサポート研究会
26日 土		26日 火		26日 木	
27日 日	埼玉障害者自立生活協会	27日 水	ピアサポート研究会	27日 金	ボスティング
28日 月	水上公園予備日	28日 木	水上公園予備日	28日 土	麓谷花火大会夜店
29日 火		29日 金		29日 日	
30日 水	ボスティング?	30日 土		30日 月	
31日 木	朝会準備			31日 火	

○ここについているのは世一精を運営するNPO法人全体のスケジュールです。
○ の中は、リハビリを兼ねた1~3時間内の屋外のアクティビティです。グループでやるので、初めての方でも大丈夫です。
○ほかのスケジュールは、主にハダグループでの講座やミーティングです。詳しい内容についてはお問い合わせください。

●第2期すいごごカフェ始まる



3月、4月は、就労移行支援事業所立ち上げ応援のため休止していた「すいごごカフェ」及び第3水曜日の「Lunch Café どっこいしょ」第2期がスタート。第1回(5月9日)は社福つぐみ共生会職員の土田さん。社福の研修初日が「ぼぼんた」という障害者達が街に出て行く活動への同行で、元気な人々につきあわせられ疲れたが楽しかったことが、現在も働き続けている契機。そこから遡って、証券マン、病院事務職員、総合建設業などでの働き方を振り返った。



第2回(5月16日)はLunch Café どっこいしょでキッチンとまとのカレーをいただいた後、すいごごカフェで開業医の水谷淳子さんがゲスト。医学部卒業後どんな医師になるのかに大きな影響を与えていたインターン制度完全廃止の運動をきっかけに起こった東大闘争の前後での得難い経験を語った。

●21周年記念かつぼフェスタ開催



5月16、17日、県庁内福祉の店アンテナショップかつぼが、庁内でかつぼフェスタを開催し、施設・団体が出店し、県職員や来庁者が集まった。各地の施設が交代で毎日店番に来ているユニークな店。

職場・地域ひろがりつうしん

初夏の水辺の市に新たな出店者も



写真は5月8日の水辺の市。タンク☆ポップのライブが終わると、いつも集合写真を撮る。車いす姿は盲ろうの橋本さん。その後ろはろう者の荻野さん。荻野さんは歌い手の動きに合わせて軽快にリズムをとる。が、橋本さんは視えないので、介助者が肩を軽く叩くとそれに体を合わせてライブを楽しむ。その楽しみのために水辺の市に来ているといってもよい。

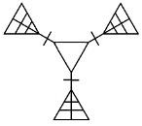
写真にはこの日初出店の「お手玉ポンポンの会」のみなさんも入っている。同会は端切れでお手玉を作って売るほか、子どもたちや高齢者にお手玉でいろんな遊び方を教える活動もしているという。

●水上公園で夏の花植えが始まる

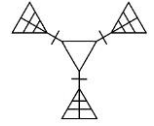


当会が公益財団法人埼玉県公園緑地協会から業務委託を受け、年間を通して整備を行っているしらこぼと水上公園の花壇で、GW明けから春の花を除去し夏の花に変える作業が始まった。写真は5月21日、本部の担当・村社さん(作業服)が現地へ見えての作業の反省会。この日は8施設から利用者・職員計35人が参加して、地拵え、移植、灌水の作業に汗を流した。

村社さんによれば、このような形で地域の団体に業務委託を行っている県営公園はほかにないとのこと。12年目に入り、施設間、参加者間のチームワークがよくなり、ていねいな作業ができていて実感する。



情報スクランブル



県障害者支援計画に当会の意見が一部反映

埼玉県障害者計画
埼玉県障害者支援計画
埼玉県障害者就業計画

第5期埼玉県障害者支援計画
平成30年度～平成32年度
(2018年度～2020年度)



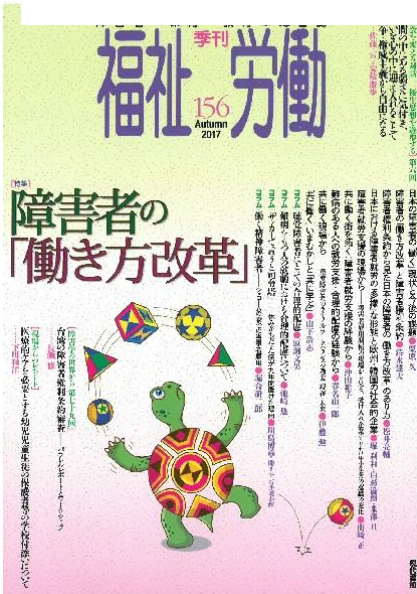
平成30年3月
彩の国 埼玉県

今年3月に策定された「第5期埼玉県障害者支援計画」の第8章の「障害者施策推進協議会からの提言」の「Ⅲ就労を進める」の中に、当会が一社・埼玉障害者自立生活協会を通して提案した「職場参加」の記述が以下の通りいくつか盛り込まれました。

「新規就職者が一定数いる反面相当数の離職者もいること、新規就労者数の中に就労継続支援A型の利用者が含まれていること、さらには重度障害者のダブルカウント方式などを考慮すると、一般就労が進んでいるとは言い切れない面も否めません。」

「身近な地域の中で雇用率にカウントされない短い働き方などを開拓し、障害のない人が様々な障害者と出会い一緒に働く体験を重ねることが、一般就労している障害者や周囲の人々にとって働きやすい職場作りにつながるものと考えます。」

「福祉施設を利用しながら柔軟に様々な職場に参加し、多様な働き方を模索できる取組が必要であり、県庁内福祉の店『かつぼ』は、障害者が働く場であると同時に県庁各課での職場参加の足掛かりの場でもあり、ここでの経験を社会に広げていく発信拠点として充実させる必要があります。」



季刊「福祉労働」に当会から二つの論稿が

同誌は現代書館から40年近くにわたり発行されてきた障害者・保育・教育の総合誌。編集長は堀利和さん。その156号(2017年9月)は[特集]障害者の「働き方改革」。

そこに掲載された沖山雅子当会運営委員による「共に働く街を拓く：障害者就労支援の経験から」は沖山節全開。

「就労は働きたい人と雇おうとする事業所の『相互作用』で成り立つダイナミックな営みである。求職者の側の就労準備性の不足をあげつらっていたら、何十年かかっても就労に辿りつけない。できることから取り掛かる姿勢が大事であり、支障が多少あっても受け入れることで支援者も求職者も事業所もエンパワメントされることは多い。」

山下浩志当会事務局長による『共に働く』いまむかしと『共に学ぶ』も掲載されました。

「障害者に対する特別支援がない時代、差別や虐待もひっくるめて、『共に働く』地域があった。教育・雇用・福祉分野で制度が整備されるにつれ分けられた場に行く子どもが増えたが、分けられた場で『できる子』は指導や注意にどう対応したらいいかわからず打たれ弱く、鍛えにくい。『共に学ぶ』から当たり前前に『共に働く』道の可能性を追求する。」

このほか、「日本における障害者就労の『多様』な形態と欧州・韓国の社会的企業」(堀利和・白杉滋朗・米澤旦)、「共に働く現場から一重度障害者のライフ&ワークバランスの過去・現在・未来」(伊藤勲)などが読みごたえがあります。(定価1200円 当会事務局でも取り扱い中)

当法人の行う就労移行支援事業とは、障害種別や重度・軽度を問わず、それぞれに職場参加や実習を實踐しながら多様な形で就労できるよう支援します。また、就労後の職場定着支援を行います。

○当法人からのメッセージ

越谷市より同市障害者就労支援センターを開設から10年間受託しました。会としてはそれ以前から障害者が地域の職場で共に働くための多様な試みを重ねてきました。長い間に蓄積したノウハウを活かし、一人一人に即した職場開拓、就労を目指します。

ベテラン職場開拓スタッフ、経験豊かなジョブコーチスタッフが支援します。

子供の頃から障害のあるなしで分け隔てられた2つの世界…。しかし、障害者も家や施設から外に出て社会の一員として社会に参加し…職場にも「参加」しようをモットーに活動してきました。障害者側だけが頑張るのではなく、受入側の人達も試行錯誤しながら互いに歩み寄り、せめぎ合い、共に働く職場づくりを支援します。

「働き方改革」が叫ばれる一方で、ワーキングプア、就労困難者がますます増える時代—誰にとっても働きがいがあり、暮らしやすい街をめざし、この事業を進めます。



法人本部
特定非営利活動法人
障害者の職場参加をすすめる会
〒343-0023
埼玉県越谷市東越谷1-1-7 須賀ビル101
メールアドレス shokuba@deluxe.ocn.ne.jp

☎048-964-1819
(着信するまで7コールぐらいお待ちください)

障害者就労移行支援事業所

よいしょ

世一緒



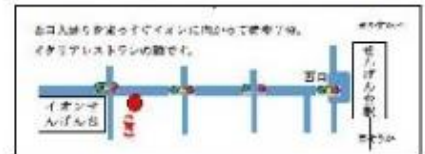
場所 せんげん台駅西口から埼玉県立大学に向かって徒歩7分

〒343-0041

埼玉県越谷市千間台西3丁目1-16

☎048-971-8038

メールアドレス dokkoisyo3116@yahoo.co.jp



地域の職場に多様な働き方で参加しよう！

★利用の流れ

お問合せ

まずは、ご利用の仕方など、お気軽にお問合せ、ご相談ください。

体験

ご利用の前に、一定期間の体験を行うことができます。

利用手続き

サービス利用計画を作成し、市役所等に申請します。



利用開始(受給者証の交付)

※ほとんどの方は自己負担なしです。前年度の所得が関係するので、個別にご相談ください。

※交通費、昼食代は原則自己負担ですが、交通費等の一部が自治体から支給される場合もあり。

※訓練中は無給ですが、一部作業は工資あり。

★内容(プログラム)

できるだけ職場の中での訓練をめざす

職場参加(実習・体験)

○実習・体験にあたってのマナー他
○求人広告チェック会

○ハローワークの利用と登録(体験を通じた職探し)

○履歴書の書き方
○模擬面接体験
○企業訪問、面接、実習

○連携企業等での職場体験
○越谷市地域適応支援事業(実習)

職場参加(実習・体験)の準備訓練等

八百屋カフェ

○接客マナー ○メニュー
○役割分担 ○内装、清掃
(3~4名のグループで交代)

工芸・調理等

○革工芸 ○切り絵、クロスステッチ、刺し子
○クッキー・パン ○陶芸

作業訓練と併せて職場・地域と交流も

グループワーク(施設外就労・施設外支援)

○祭り、イベント(説明、販売品・係分担、看板、値札、商品作り)
○花壇整備作業(県営公園花壇整備作業、5,9,11月:月4回、他月1回)
○除草作業(個人・企業等、冬無)
○ポスティング
○越谷水辺の市
○通信発送作業(宛名貼り・封入)

支援を受ける立場こそ共に働く街を拓く

ピアサポート(就労前~就労中~離職前~離職後)

○職場参加を語る会(第3水午前)
○たそがれ世一緒(毎木4時~7時)
○どよう世一緒(月1回土曜午前)
○映画会(第2木7時~9時)

職場定着支援

○就労後の職場巡回訪問
○前記ピアサポートの場への参加(仕事帰りや休日に立ち寄り、生活や仕事の悩み等まじえ交流できる場)

この他、ご本人に合わせたプログラムも

廿一者スタンプ日記

きんえんについて

オヤジ

私はきんえんをお金なくて吸うのをやめたのですが、長年吸っているのでカンコーとブラックとタバコを吸うのが日課になっており、1日の始まりはこういうのから1日のやるぞという気になります。

でも、さいきんはお金がなく、必然的にタバコとコーヒーをやめると1日の流れがくるってあわててしまい、心のバランスがとれなくなりその1日は心がいつもグレ—です。

心と体がバラバラになりあわててしまいます。あわてていると何もせず洗たくとそうじに、あけくればしまう。その日の夜に「オレ何にやつてたんだ」とししょうらいどうなるのかなと思います。私は三〇代で入院し五〇歳で一ぱん会社に三年一カ月働いて初めて世の中を知り、これじゃだめだ

はやく仕事したい

グレース

私は週に月曜日から金曜日まで

二〇一八年五月二十二日発行(毎月十二回 二と四と六と八の日) 通巻 第四六二三号
一九九四年八月二十四日第三種郵便承認
発行人 埼玉県障害者団体定期刊行物協会 〒333-0851 川口市芝新町十五-九 アステール藤野1F



世一緒では、障害や病気その他の状況による働きづらさを、他の人々と共有し生きるために、世一緒に開くという人々を「スタンプ」と呼んでいます。サポーター(非常勤やボランティア)の支えを受けて、世一緒の当番(ピアサポーター実習)や「語る会」、身近な地域で必要とされる仕事(花壇整備、除草、ポスティング)のグループワーク等もしています。元スタッフ等からの近況報告も紹介します。なお2018年4月からはせんげん台に就労移行支援事業所「世一緒」が開所しました。こちらは制度により定められた職員がおり、通所2年の間に一般就労への支援サービスを提供する場となっています。当会は定められた支援はもちろん、自主事業の世一緒(越谷)と連携して、多様な就労やピアサポーターも可能な展開をめざします。当

週5日毎週出ています。娘もいるので早く働けるようになってほしいなと思います。いろいろと実習へ行っています。

ただ仕事がいいよよくありますが、実習は清掃をしています。清掃はきれいになると心もちかくなります。だから仕事は清掃の仕事へ行きたいなと思いました

壁に向き合って

N・S

最近の私は、壁にぶつかっています。就職して、五月で五カ月になります。「社会」の厳しさに直面しています。

「障害者枠」とはいえ、お給料をもらっているのだから、一緒に働いている人に迷惑をかけてはいけない、新しい仕事は覚えなくてはならない、覚えた仕事は責任持って行わないといけないなど、強く感じてしまいます。でも、今の職場は、とても好きで私の「障害」にも理解のある病院なので、少しずつ、その壁を乗り越えていけたらいいなと感じています。私生活では、赤信号で渡ってしまったり、「生きる」については、

容量いっぱいだけ

ひろ

現在、仕事探しをしながら通所しています。いろいろあって、容量がいっぱいいっぱいになってます。それなりに自分で考えて頑張ってきているせい何かをつかめているのかなと思います。

いつ結果が結びつくかわかりませんが、頑張っていきたいです。

自分の身体のこと

水島 茂治

今、自分について、身体の方が少しづつ、少しあるくと心臓こどろが前よりあっぱくかんがでてきて四月にエムアールをやり、血はけっかは平均でよかったです。又、七月CT検査をやり、十月には

兄への思いなど

青木 繁明

最近、日曜日から土曜日に面会に週間ごとに行っています。入院させられ幻覚や幻聴が大変だった様子で、ちよつと心配いりませんと、なかなかおちついた話をしませんでした。本人もあきらめたのか、退院の話などしません。右の耳がきこえないようです。川口の司法書士にマンションを処分したら二年か三年後グループホームに入るとは、自覚があるので心配していません。

私はきずなファクトリーで新しい仕事にチャレンジをしています。一生働ける場所で頑張り、兄への面会は続けるつもりです。グループホームでは二年か三年後にたてかえ、団地かアパートか施設に入るか、いろいろ案があるそうです。どこにいても働ける場所があると思います。

NPO法人障害者の職場参加をすすめる会

当会はみなさまの会費と寄付金等により支えられています。どうぞ、ご協力をお願いします。

〒344-0023 埼玉県越谷市東越谷 1-1-7 須賀ビル 101 世一緒内 (ハローワーク斜向かい)

048-964-1819 (fax 共) shokuba@deluxe.ocn.ne.jp http://www5b.biglobe.ne.jp/~yellow/

